旧長瀞綜合博物館所蔵金属製遺物目録

野中　仁

はじめに

秩父郡長瀞町野上に所在した長瀞綜合博物館は、眼科医塩谷覚三郎（1886－1967）が収集したコレクションを展示公開する「汲古館」として昭和32年に開館し、同38年に長瀞綜合博物館に改称した博物館であったが、平成25年の閉館とともに収蔵資料が埼玉県に寄贈された。寄贈を受けた資料群は、その種別ごとに歴史と民俗の博物館、さきたま史跡の博物館、嵐山史跡の博物館、自然の博物館にそれぞれ分けて収蔵されている[1]。

さきたま史跡の博物館では、そのうちの考古資料を中心に約870件が収蔵され、重要文化財の「十鈴鏡」をはじめ、県指定文化財の「古瓦」や「笑う埴輪」などが含まれている。かつて長瀞綜合博物館では、それらのほとんどを展示ケース内に陳列し公開していた。受入の際には、受入番号が付されたものの、資料個々に付された場合と、数点～数百点が木箱に収められて木箱単位で番号が付されたものが混在している。したがって、詳細な分類と整理をしようとすると、その点数は膨大となり、相当な時間が必要となることが予想される。

そこで、今回は、まず、今後腐食が進む可能性がある金属製遺物について、分類・整理し、目録として提示することで、資料個々に対する今後の調査研究と保存処理、展示公開に向けての一助とするものである。

目録の構成（凡例）

資料群を受け入れる際には、便宜上の受入番号が通し番号で付され搬入された。基本的にはこの受入番号を踏襲するかたちでナンバリングをすることとし、資料番号の表記法は下記によった。

収蔵施設略号	受入年	分類（群又は展示形態）	資料番号（受入番号）	枝番号
SAM	2013	01＝単一展示 02＝古瓦（県指定一括） B ＝木箱収納展示		

資料群全体としては上記にしたがってナンバリングを行ったが、通し番号は搬出時に機械的に付しているため、種別分類ごとにはなっていない。今回取り上げる金属製遺物については、武器、馬具、鏡、装身具、鈴、工具、銅鋺、銭貨に分類して一覧表にまとめた。

旧長瀞綜合博物館における資料の収集経緯はほとんど不明で、考古資料で重要な出土地等の情報は、資料個々の注記や旧展示に添えられたキャプション等に頼らざるを得ない状況であった。出土地等が記されたものは次のようなものである。

・資料に添えて展示していたキャプション（cap）
・資料を糸で固定していた台紙（台紙）（写真58参照）
・資料に結び付けられていた紙札（紙札）（写真39，40参照）

・資料に直接添付された付箋(付箋)（写真35参照）
・資料に直接記された注記(注記)

これらの記載内容は、その資料の出土地等を推定する上で希少な情報であるため、可能な限りそのままの文言で「旧ラベル等」の欄に記入し、その形態を(　)内に示した。

出土地欄には前述の情報をもとに現在の行政区分を記入した。

過去に資料紹介等で取り上げられている資料については、文献（No）を備考欄に記載し、文献は一覧表末に列挙した。個々の資料についての詳細はそちらの文献も併せて参照されたい。

主な資料は写真を掲載し、写真番号を備考欄に記載した。

なお、X線透過撮影は、文化財収蔵施設設置の装置を用い、公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団の瀧瀬芳之氏の協力を得た。記して感謝する次第である。

《註》

（1）旧長瀞綜合博物館資料が埼玉県に寄贈されて以降、その一部が下記の文献により資料紹介されている。
・井上素子・高橋美織2014「収蔵資料紹介　旧長瀞綜合博物館所蔵資料～自然金・自然銅を中心として～」『ニュースレター瀞』埼玉県立自然の博物館
・野中仁2015「旧長瀞綜合博物館所蔵資料（塩谷コレクション）－古紙幣類－」『紀要』第9号　埼玉県立歴史と民俗の博物館
・高田智仁2016「旧長瀞綜合博物館所蔵資料（塩谷コレクション）－古筆手鑑「和漢群蹟」－」『紀要』第10号　埼玉県立歴史と民俗の博物館
・倉澤麻由子2016「旧長瀞綜合博物館からの寄贈資料－富山県氷見市朝日貝塚の骨角器－」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第9号
・元林恵子2017「埼玉県立嵐山史跡の博物館所蔵青白磁水注」『埼玉考古』第52号　埼玉考古学会

（2）（一覧中-0537十鈴鏡）金井塚良一氏は、十鈴鏡の出所について、聞き取りによる追跡調査を実施し、新人物往来社刊『はにわ屋高田儀三郎聴聞帳』1994にまとめている。その中で、かつては群馬県玉村町の個人が所有していたことまでは突き止めたが、出土地については保留している（玉村町在住の個人が所有していただけで出土地とは言えない）。また、一部の文献には金井塚氏が埼玉県「生野山古墳群」とみているとされているが、同書ではそうみていない。

（3）（一覧中-0355耳環）旧台紙記載の林魁一は明治～昭和の考古学者。『考古学雑誌』第15巻第9号（大正14年9月5日発行）には、「美濃通信（三）（美濃国土田村渡古墳発見物）」として同地出土の遺物が林によって紹介されている。ただ、本資料が紹介の中の耳環であるかは判然としない。

【武器】

No	資料番号(SAM2013-01-)	名称	年代	材質	出土地等	寸法(cm)	員数	資料概略	旧ラベル等	備考
1	0135	鉄鏃	古墳時代	鉄	群馬県伊勢崎市	4.7	1	先端部のみ残存。	群馬県佐波郡赤堀村古墳出土(cap)	
2	0191	大刀	古墳時代	鉄		長89.0 刀身元幅3.2 柄5.4	1	はばき付着。目釘穴2。		写真1
3	0244	鍔	古墳時代	鉄		8.8×7.4	1	倒卵形八窓。 耳部に象嵌あり。		写真8・9
4	0245	鍔	古墳時代	鉄		8.6×7.8	1	倒卵形無窓。 上部に並列2個の孔あり。		
5	0246	鍔	古墳時代	鉄		6.6×5.8	1	倒卵形無窓。 上部に並列2個の孔あり。		
6	0247	鍔	中世～近世	鉄		9.3×8.4	1	楕円形。 小柄櫃または笄櫃穴あり。		
7	0248	鍔	中世～近世	鉄		8.7×8.7	1	円形。笄櫃穴あり。 一部に銅張残存。		写真23
8	0249	はばき	古墳時代	金銅		3.7×2.3	1	0250と同一製品。		写真10
9	0250	はばき	古墳時代	金銅		3.3×2.3	1	0249と同一製品。		写真10
10	0251	鍔	古墳時代	金銅		8.1×6.4	1	倒卵形八窓。 0249～0250、0252～0255とセット。		写真11
11	0252	責金物	古墳時代	金銅		3.6×2.0	1	0249～0251、0253～0255とセット。		
12	0253	責金物	古墳時代	金銅		3.8×2.4	1	0249～0252、0254～0256とセット。		
13	0254	鞘金具	古墳時代	金銅		2.9及び3.0	2	鞘金具断片。0255と同一製品か。		
14	0255	足金物	古墳時代	金銅		4.6×1.9	1	円環残存。		
15	0256	鞘尻金具	不明	鉄		6.1×4.5	1	鞘尻金具か。器面に武人の図像を鋳出し、部分的に象嵌を施す。海外製か。		写真22
16	0257	鉄鏃	古墳時代	鉄		3.7(鏃身残存長) 6.2(頸部) 4.7(茎部)	1	片刃長頸鏃。 茎部に木質残存。		
17	0258	鉄鏃	古墳時代	鉄		4.6(鏃身) 6.7(頸部) 4.1(茎部残存長)	1	片刃長頸鏃。 茎部に木質残存。		
18	0259	鉄鏃	古墳時代	鉄		総残存長13.8	1	長頸鏃。		
19	0260	鉄鏃	古墳時代	鉄		A:7.5 B:6.8	1	3片分割。一部欠損。片刃長頸鏃。 茎部に木質残存。		
20	0261	鉄鏃	古墳時代	鉄		6.7	1	両刃鏃身部のみ。		
21	0262	鉄鏃	古墳時代	鉄		11.3	1	長頸鏃。		写真17
22	0263	鉄鏃	古墳時代	鉄		5.7	1	両刃鏃身部のみ。		
23	0264	鉄鏃	古墳時代	鉄		3.6	1	両刃鏃身部のみ。		
24	0265	鉄鏃	古墳時代	鉄		3.1(鏃身) 8.3(頸部) 1.8(茎残存長)	1	片刃長頸鏃。		写真16
25	0266	鉄鏃	古墳時代	鉄		9.8	1	鏃断片。		
26	0267	鉄鏃	古墳時代	鉄		6.5	1	鏃断片。		
27	0333	三翼銅鏃	(春秋戦国～漢?)	銅		3.8×2.0	1			写真21
28	0334	三翼銅鏃	(春秋戦国～漢?)	銅		3.8×2.0	1			
29	0335	三翼銅鏃	(春秋戦国～漢?)	銅		4.1×2.0	1			
30	0336	三翼銅鏃	(春秋戦国～漢?)	銅		3.7×1.8	1			
31	0337	三翼銅鏃	(春秋戦国～漢?)	銅		4.0×2.3	1			
32	0357	銅鏃	古墳時代	銅	静岡県静岡市	4.5×1.8	1	柳葉形。	駿河安倍郡(台紙)	写真18
33	0358	銅鏃	古墳時代	銅	東京都日野市	5.9×2.2	1		武蔵南多摩郡日野村七ッ塚　三九、一、二(台紙)	写真19
34	0448-0001	大刀	古墳時代	鉄(はばき金銅)		長101.0 刀身元幅4.1	1	金銅製はばき残存。柄木一部残存。刀身2分割。0448-0002～0005の刀装具を伴う。		写真2
35	0448-0002	鍔	古墳時代	金銅		5.8×3.4	1	金銅製。 0448-0001に伴うはみ出し鍔。		写真2

36	0448-0003	鞘尻金具	古墳時代	金銅		4.0×3.6	1	金銅製。 0448-0001の鞘尻金具。		写真2
37	0448-0004	責金物	古墳時代	銅(鍍金?)		4.7×2.5	1	0448-0001に伴う。		写真2
38	0448-0005	責金物	古墳時代	銅(鍍金?)		4.9×1.7	1	0448-0001に伴う。		写真2
39	0449-0001	大刀	古墳時代	鉄		長86.4 刀身元幅3.4	1	はばき残存。はばきの一部に象嵌あり。象嵌鍔0449-0002及び柄頭元金具0449-0003を伴う。		写真3
40	0449-0002	鍔	古墳時代	鉄		5.5×6.7	1	倒卵形無窓。 平両面に心葉文、耳部に重円文?の象嵌。0449-0001に伴う。		写真 3・4・5
41	0449-0003	柄頭縁金具	古墳時代	鉄		2.8×3.3	1	2重半円文の象嵌。 0449-0001に伴う。		写真 3・6・7
42	0450	大刀	古墳時代	鉄		長104.1 刀身元幅4.3	1	目釘穴3。		写真12
43	0539	頭椎柄頭	古墳時代	金銅	埼玉県 深谷市畠山	7.5×5.0	1	現在は消滅した深谷市蛤塚古墳出土と伝えられる。	大里郡本畠村大字畠山蛤塚出土(cap)	文献 (1)(2) 写真14
44	0540	鍔	古墳時代	鉄		6.4×5.4	1	倒卵形無窓。		
45	0543	鞘口金具(鉄刀身付着)	古墳時代	金銅	群馬県 藤岡市本郷	鞘口4.7×4.2 刀身残存長：10.5	1	獅噛環頭柄頭0545に伴う。	群馬県本郷出土(cap)	文献(3) 写真13
46	0544	鍔	古墳時代	金銅	群馬県 藤岡市本郷	6.9×6.0	1	ほぼ楕円形の金銅製無窓鍔。 0543の鞘口金具に付着していた形跡があるが不明。	群馬県本郷出土(cap)	写真15
47	0545	獅噛環頭柄頭	古墳時代	金銅	群馬県 藤岡市本郷	6.9×6.0	1	環内に獅噛を鋳出した環頭柄頭。 環に龍文を表す。 付随する把筒金は断面八角形。	群馬県本郷出土(cap)	文献(3) 写真13
48	0550	鉄刀残欠	古墳時代	鉄	群馬県 藤岡市本郷	5.5×3.2	1	鉄刀の残欠。0543の刀身と同一資料の可能性あり。	群馬県本郷出土(cap)	
49	0572	短刀	江戸時代	鉄		刀身18.5 茎8.2	1	はばき及び家紋(丸に蔦)入りの縁金具付着。		写真20

【馬具】

No	資料番号(SAM2013-01-)	名称	年代	材質	出土地等	寸法(cm)	員数	資料概略	旧ラベル等	備考
1	0209	轡 (引手)	古墳時代	鉄	(埼玉県児玉郡 美里町広木)	13.6	1	0210～0213とセット。		文献(12) 写真24
2	0210	轡 (銜)	古墳時代	鉄	(埼玉県児玉郡 美里町広木)	11.0	1	0209、0211～0213とセット。		文献(12) 写真24
3	0211	轡 (引手)	古墳時代	鉄	(埼玉県児玉郡 美里町広木)	15.7	1	0209～0210、0212～0213とセット。		文献(12) 写真24
4	0212	鏡板	古墳時代	銅	(埼玉県児玉郡 美里町広木)	11.9×8.8	1	周囲に6個の鈴を巡らす。鉄製遊環付。0209～0211、0213とセット。		文献(4) (12) 写真24
5	0213	鏡板	古墳時代	銅	(埼玉県児玉郡 美里町広木)	11.9×9.1	1	周囲に6個の鈴を巡らす。鉄製遊環付。0209～0212とセット。		文献(4) (12) 写真24
6	0216	馬鐸	古墳時代	銅	埼玉県 本庄市児玉	8.3×6.0	1	獣面様の文様。両側に鰭。	馬鐸　埼玉県児玉出土(cap)	文献(5) 写真25
7	0268	辻金具	古墳時代	鉄・金銅	群馬県	7.5×7.5 円形部径4.6	1	鉄地金銅張り。	群馬県出土(cap)	写真28
8	0269	辻金具	古墳時代	鉄・金銅	群馬県	7.5×7.5 円形部径4.7	1	鉄地金銅張り。	群馬県出土(cap)	写真28
9	0270	辻金具	古墳時代	鉄・金銅	群馬県	円形部径4.6	1	鉄地金銅張り。留具3欠損。	群馬県出土(cap)	写真28
10	0271	雲珠	古墳時代	鉄・金銅	群馬県	円形部径8.8	1	鉄地金銅張り。留具は本来8つ。 うち4つ欠損。	群馬県出土(cap)	写真28
11	0272	鏡板	古墳時代	鉄・金銅	群馬県	8.3×8.2	1	鉄地表面のみ金銅張り。	群馬県出土(cap)	写真28
12	0273-0001	鏡板(引手付)	古墳時代	鉄・金銅	群馬県	8.8×8.4 引手長14.5	1	鉄地表面のみ金銅張り。 鉄製引手が付く。	群馬県出土(cap)	写真28
13	0273-0002	引手	古墳時代	鉄	群馬県	15.0	1	0272、0273-0001とセット。連結部あり。	群馬県出土(cap)	
14	0273-0003	引手	古墳時代	鉄	群馬県	5.8	1	0272、0273-0001、2とセット。 円環部断片。	群馬県出土(cap)	
15	0274	轡	古墳時代	鉄	群馬県	ハミ15.0 カコ6.8 引手1:8.5 引手2:6.0	1	鉄製轡。ハミ、カコ、引手からなる。	群馬県出土(cap)	写真29
16	0275	引手	古墳時代	鉄	群馬県	8	1	引手端部断片。	群馬県出土(cap)	
17	0276	杏葉	古墳時代	鉄・金銅	群馬県	8.2×8.1	1	鉄地表面のみ金銅張り。 0272の鏡板と同一馬具。	群馬県出土(cap)	写真28

18	0277	杏葉	古墳時代	鉄・金銅	群馬県	8.6×8.3	1	鉄地表面のみ金銅張り。 272の鏡板と同一馬具。	群馬県出土(cap)	写真28
19	0278	杏葉	古墳時代	鉄・金銅	群馬県	8.5×8.4	1	鉄地表面のみ金銅張り。 裏面に布残存。	群馬県出土(cap)	写真28

【鏡】

No	資料番号(SAM2013-01-)	名称	年代	材質	出土地等	寸法(cm)	員数	資料概略	旧ラベル等	備考
1	0190	菊花双鳥鏡	鎌倉時代	銅	埼玉県長瀞町 矢那瀬	径10.0	1	左から右になびく菊花と2羽の鳥を配す。	矢那瀬石井秀作所有地分地下一尺五寸出(付箋)	写真34・35
2	0301	倭製獣像鏡	古墳時代	銅		径9.6	1	施回式獣像鏡系。		写真32
3	0302	六稜鏡	(隋唐?)	銅		径19.0	1	内区に鳳凰、鹿、獅子を鋳出し、周囲を唐草文で埋める。		
4	0537	十鈴鏡	古墳時代	銅	群馬県 佐波郡玉村町 小泉	径19.5	1	国指定重要文化財。周縁に10個の鈴を付ける。内区は獣形と人物を交互に配し、外区は櫛歯文、複波文、鋸歯文を巡らす。	十鈴鏡　伝群馬県佐波郡玉村町大字小泉出土(重文指定書) 群馬県内出土(箱書・cap)	文献(6)(7)(8)(9)(10) 写真30・31 註(2)
5	0569	倭製神獣鏡	古墳時代	銅	群馬県 藤岡市	最大径17.0	1	神獣を交互に配す系統鏡。	群馬県多野郡平井町 諏訪神社境内出土(cap)	写真33
6	0570	松喰鶴鏡	平安～鎌倉時代	銅	奈良県生駒市-大阪府東大阪市境	径10.9　周縁幅0.3	1	松枝をくわえた鶴2羽を配す。 紐は花しべ座。	大和河内の境暗峠の辺　経筒に伴ふ　鈴木氏より(付箋)	写真36
7	0571	州浜双鳥鏡	平安時代	銅	奈良県生駒市-大阪府東大阪市境	径10.9 周縁幅0.2	1	下方に流水と岩礁を表し、2羽の鳥を配す。紐は菊花座。	松喰鶴鏡に伴い大和河内境暗峠辺経筒と共に出土す(cap)	

【装身具】

No	資料番号(SAM2013-01-)	名称	年代	材質	出土地等	寸法(cm)	員数	資料概略	旧ラベル等	備考
1	0222	耳環	古墳時代	銅・銀・金		2.2×2.2	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。		
2	0223	耳環	古墳時代	銅・銀・金		1.9×1.8	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。		
3	0224	耳環	古墳時代	銅		3.1×3.1	1	中空。		写真44
4	0225	耳環	古墳時代	金銅		3.1×3.1	1	中空。鍍金。		
5	0226	耳環	古墳時代	銅・銀・金		3.1×2.9	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。		
6	0227	耳環	古墳時代	銅・銀・金		3.1×2.8	1	中実。銀張り鍍金。		
7	0228	耳環	古墳時代	金銅		1.8×1.8	1	中実。鍍金		
8	0229	耳環	古墳時代	金銅		1.8×1.8	1	中実。鍍金		
9	0230	鈴釧	古墳時代	銅		全10.6 環径7.6	1	断面菱形の釧に6個の鈴を付ける。		文献(12)(13) 写真37
10	0231	銅釧	古墳時代	銅		最大径7.2 厚0.5	1			
11	0232	銅釧	古墳時代	銅		最大径7.2 厚0.6	1			
12	0338	銅釧	弥生～古墳時代	銅		最大径5.9 銅板幅0.6	1	銅板のリング。 1か所開口し全周しない。		写真38
13	0339	銅釧	弥生～古墳時代	銅		最大径6.1 銅板幅0.5	1	銅板のリング。 1か所開口し全周しない。		
14	0340	銅釧	弥生～古墳時代	銅		最大径6.5 銅板幅0.6	1	銅板のリング。 1か所開口し全周しない。		
15	0341	銅釧	弥生～古墳時代	銅		最大径6.1 銅板幅0.6	1	銅板のリング。 1か所開口し全周しない。		
16	0342	空玉	古墳時代	金銅	埼玉県 行田市埼玉	径2.3	1	金銅製。球形。	武蔵北埼玉郡埼玉村(紙札表) 武蔵埼玉村若王子古墳(紙札裏) 武蔵埼玉村若王子古墳(台紙)	写真40
17	0343	空玉	古墳時代	銅(鍍金?)	埼玉県 行田市埼玉	径2.0×高1.2	1	扁平円形。	武蔵北埼玉郡埼玉村若王子塚　湯本氏ヨリ 四五、一、七(台紙)	写真41
18	0344	耳環	古墳時代	銅・銀・金	群馬県 高崎市	3.5×3.3	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。	上野群馬郡八幡村山名隠居山　購　42.4.17(台紙)	写真45

19	0345	耳環	古墳時代	銅・銀・金	群馬県高崎市	3.5×3.3	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。	上野群馬郡八幡村山名隠居山　購　42.4.17(台紙)	
20	0346-0001	耳環	古墳時代	銅・銀	群馬県高崎市	2.2×2.1	1	中実。銅芯に銀張り。	上野群馬郡八幡村山名隠居山　購　42.4.17(台紙)	
21	0346-0002	耳環	古墳時代	銅・銀	群馬県高崎市	1.7×1.6	1	中実。銅芯に銀張り。	上野群馬郡八幡村山名隠居山　購　42.4.17(台紙)	
22	0347	耳環	古墳時代	銅・銀	群馬県高崎市	2.9×2.8	1	中実。銅芯に銀張り。	上野群馬郡八幡村山名隠居山　購　42.4.17(台紙)	
23	0348	耳環	古墳時代	金銅	群馬県高崎市	2.1×1.9	1	中実。銅芯に鍍金。	上野群馬郡八幡村山名隠居山　購　42.4.17(台紙)	写真46
24	0349	耳環	古墳時代	金銅	群馬県高崎市	2.1×1.9	1	中実。銅芯に鍍金。	上野群馬郡八幡村山名隠居山　購　42.4.17(台紙)	
25	0350	耳環	古墳時代	銅・銀・金	群馬県高崎市	2.1×1.9	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。	上野群馬郡八幡村山名隠居山　購　42.4.17(台紙)	
26	0351	耳環	古墳時代	銅・銀・金	群馬県藤岡市	2.2×2.0	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。	上野多野郡美九里村小林　42.2.20(台紙)	
27	0352	耳環	古墳時代	銅・銀・金	群馬県藤岡市	2.1×2.0	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。	上野多野郡美九里村小林　42.2.20(台紙)	
28	0353	耳環	古墳時代	銅	群馬県藤岡市	1.7×1.7	1	中実。開口部錆着。鍍金?。	上野多野郡美九里村小林　42.2.20(台紙)	
29	0354	耳環	古墳時代	金銅	群馬県藤岡市	1.7×1.6	1	中実。銅芯に鍍金。	上野多野郡美九里村小林　42.2.20(台紙)	
30	0355	耳環	古墳時代	銅	岐阜県可児市	2.8×2.5	1	中実。鍍金不明。	美濃可児郡土田村渡字ソデウラ 林魁一君ヨリ(台紙)	註(3) 写真42
31	0356	耳環	古墳時代	銅・銀・金	埼玉県入間郡毛呂山町	2.4×2.2	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。	武蔵大里郡(入間郡カ)川角村川角字塚原(台紙)	写真43
32	0390	耳環	古墳時代	鉄	福岡県京都郡	3.0×2.7	1	中実。鉄製。	豊前京都郡　森間三郎君ヨリ　42.4(台紙)	写真47
33	0397	耳環	古墳時代	銅・銀・金	群馬県伊勢崎市	2.0×2.0	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。	上野国佐波郡武士村中沢廣勝君ヨリ　41.3(台紙)	
34	0398	耳環	古墳時代	銅・銀・金	岐阜県揖斐郡	3.5×3.2	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。	美濃国揖斐郡　今西君ヨリ(台紙)	
35	0546	耳環	古墳時代	銅・銀		2.9×2.7	1	中実。銅芯に銀張り。		
36	0547	耳環	古墳時代	銅・銀・金		2.9×2.7	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。		
37	0548	銅釧	古墳時代	銅		最大径7.3 厚0.3	1	細身の銅釧。稜を持つ。		
38	0556	銅釧	古墳時代	銅	群馬県高崎市岩鼻町	径6.7	1	断面菱形。外縁に刻みを有する。	上野岩鼻村岩鼻町(紙札)	
39	0557	銅釧	古墳時代	銅	群馬県高崎市岩鼻町	径7.0	1	断面菱形。外縁に刻みを有する。	上野岩鼻村岩鼻(紙札)	写真39
40	0558	耳環	古墳時代?	銀?		2.9×2.8	1	不定形な小孔を施す	銀環　彫刻アリ(cap)	写真48
41	0559	耳環	古墳時代?	銀?		3.0×3.0	1	不定形な小孔を施す	銀環　彫刻アリ(cap)	
42	0560	耳環	古墳時代	金(銅)		1.7×1.6	1	銅芯に金張りか。		写真49
43	0688	耳環	古墳時代	銅・銀		2.9×2.0	1	中実。銅芯に銀張り。		写真50
44	0689	耳環	古墳時代	銅・銀		2.6×2.4	1	中実。銅芯に銀張り。		
45	0690	耳環	古墳時代	銅・銀		3.1×2.7	1	中実。銅芯に銀張り。		
46	0691	耳環	古墳時代	銅・銀		2.3×2.2	1	中実。銅芯に銀張り。		
47	0692	耳環	古墳時代	銅・銀・金		2.4×2.3	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。	■■(付箋)	
48	0693	耳環	古墳時代	銅・銀・金	(群馬県前橋市女屋町か)	3.1×2.8	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。	女屋(注記)	写真51
49	0694	耳環	古墳時代	銅		2.2×2.2	1	中空。鍍金等不明。		
50	0695	耳環	古墳時代	銅・銀		3.1×2.8	1	中実。銅芯に銀張り。		
51	0696	耳環	古墳時代	銅・銀		1.9×1.8	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。		
52	0697	耳環	古墳時代	銅・銀		2.8×2.6	1	中実。銅芯に銀張り。		
53	0698	耳環	古墳時代	鉄		2.8×2.6	1	中実。鉄製。一部緑青。鉄地銅張か。		
54	0699	耳環	古墳時代	銅・銀		1.9×1.7	1	中実。銅芯に銀張り。		

55	0700	耳環	古墳時代	銅・銀		3.0×2.7	1	中実。銅芯に銀張り。		
56	0701	耳環	古墳時代	銅·銀·金		2.0×1.8	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。	■■(注記)	
57	0702	耳環	古墳時代	銅·銀·金		2.1×1.9	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。		
58	0703	耳環	古墳時代	銅・銀		3.2×3.0	1	中実。銅芯に銀張り。		
59	0704	耳環	古墳時代	銅・銀		2.8×2.6	1	中実。銅芯に銀張り。		
60	0705	耳環	古墳時代	銅・銀		3.3×3.0	1	中実。銅芯に銀張り。		
61	0706	耳環	古墳時代	銅·銀·金		1.9×1.8	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。		
62	0707	耳環	古墳時代	金銅		1.8×1.8	1	中実。銅芯に鍍金。		
63	0708	耳環	古墳時代	銅・金		3.0×2.7	1	中実。銅芯に金張り。		
64	0709	耳環	古墳時代	金銅	(群馬県前橋市女屋町か)	3.1×2.8	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。	女屋(注記)	
65	0710	耳環	古墳時代	銅·銀·金		2.3×2.1	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。		
66	0711	耳環	古墳時代	銅·銀·金		2.1×2.4	1	中実。銅芯に銀張り鍍金。		
67	0712	耳環	古墳時代	銅		2.7×2.5	1	中実。		
68	0713	耳環	古墳時代	銅		2.9×2.6	1	中実。		
69	0714	耳環	古墳時代	銅		3.0×2.7	1	中実。		

【鈴】

No	資料番号(SAM2013-01-)	名称	年代	材質	出土地等	寸法(cm)	員数	資料概略	旧ラベル等	備考
1	0214	鈴	不明	銅		6.5×5.0	1	文様を陽鋳。四脚が付く。 海外製品か。		
2	0215	鈴	不明	銅		5.8×4.8	1	文様を陽鋳。四脚が付く。 海外製品か。		
3	0218	鈴	古墳時代	銅		2.9×2.3	1	帰属製品不明。 上下を中央で接合。		写真55
4	0219	鈴	古墳時代	銅		2.9×2.3	1	帰属製品不明。 上下を中央で接合。		
5	0220	鈴	不明	銅		2.6×1.7	1	円形扁平の鈴。 端部に破断個所あり何らかの製品の一部。		
6	0221	鈴	不明	銅		2.8×1.7	1	円形扁平の鈴。 端部に破断個所あり何らかの製品の一部。		
7	0871	鈴	不明	銅		7.5×7.0	1	上下分離。上部に3つの突起。	馬鈴(cap)	文献 (12)(13) 写真26
8	0872	鈴	不明	銅		5.0×4.1	1	上下に扁平。		文献 (12)(13) 写真27

【工具】

No	資料番号(SAM2013-01-)	名称	年代	材質	出土地等	寸法	員数	資料概略	旧ラベル等	備考
1	0134	刀子	古墳時代	鉄・鹿角	群馬県 伊勢崎市	11.1×1.1	1	鹿角製の柄残存。	群馬県佐波郡赤堀村古墳出土(cap)	写真52
2	0279	鉄斧	古墳時代	鉄		15.7×7.3	1	有袋、有肩鉄斧。		写真56

【銅鋺】

No	資料番号(SAM2013-01-)	名称	年代	材質	出土地等	寸法(cm)	員数	資料概略	旧ラベル等	備考
1	0563	銅鋺	不明	銅	埼玉県児玉郡 上里町大御堂	径10.0 高4.4 口縁厚0.15	1	椀形底部球形で無台。 補修カ所あり。	児玉郡上里村大御堂 昭和三年出土(cap)	文献 (11) 写真53
2	0564	銅鋺	不明	銅	埼玉県	径10.5 高2.2 口縁厚0.1	1	坏形で底部は平坦。無台。 口唇部直下に沈線が巡る。	埼玉県出土(cap)	文献 (11) 写真54
3	0565	銅鋺	古墳時代	銅	群馬県 伊勢崎市 波子江町	径11.4 高3.7 口縁厚0.1	1	椀形で底部やや平坦。無台。 底部及び側面に数条の沈線あり。	群馬・伊勢崎市汝江寸(ママ)一丁目宮貝戸二九七二　明治四二年四月二七日出土(cap)	写真57

【銭貨】

No	資料番号(SAM2013-01-)	名称	年代	材質	出土地等	寸法(cm)	員数	資料概略	旧ラベル等	備考
1	0391	和同開珎	奈良時代	銅	広島県呉市 倉橋町	径2.5	1		安藝国戸島亀ヶ首海軍発射場鋳口所址卜思ハル四五、一、四、有坂銘(銀)蔵氏ヨリ(台紙)	写真60

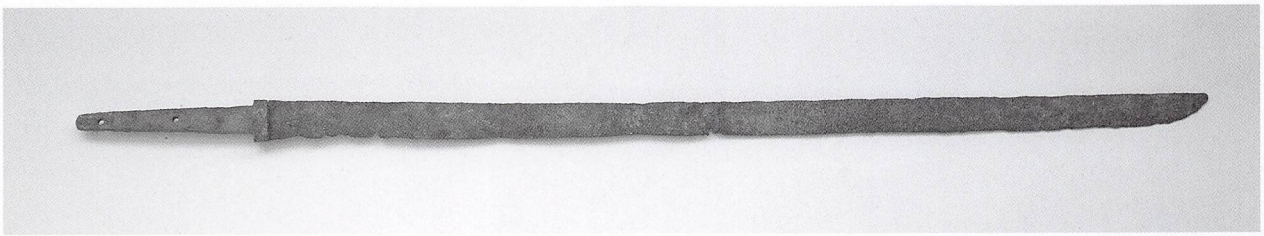
2	0392	和同開珎	奈良時代	銅	岩手県花巻市上根子	径2.5	1		陸中稗貫郡上根子村字熊堂古墳　八木源次郎君ヨリ(台紙)	写真61
3	0393	元豊通宝	(北宋)	銅	神奈川県鎌倉市	径2.4	1		相模鎌倉　蒔田鎌次郎君ヨリ(台紙)	写真58
4	0394	銭貨	不明	銅	神奈川県鎌倉市	径2.2	1	文字磨滅不明。	相模鎌倉　蒔田鎌次郎君ヨリ(台紙)	写真58
5	0395	銭貨	不明	銅	岩手県二戸市浄法寺町	径1.7	1	文字磨滅不明。	陸奥国二戸郡浄法寺村字漆沢小字川又、墓ヨリ(台紙)	写真59
6	0396	銭貨	不明	銅	岩手県二戸市浄法寺町	径1.7	1	文字磨滅不明。	陸奥国二戸郡浄法寺村字漆沢小字川又、墓ヨリ(台紙)	
7	0549	雁首銭	中世～近世	真鍮?		1.9×0.5	1	キセルの雁首を潰して銭貨としたもの。材質は真鍮か。		

【種別不明】

No	資料番号(SAM2013-01-)	名称	年代	材質	出土地等	寸法(cm)	員数	資料概略	旧ラベル等	備考
1	0217	不明製品	不明	銅		全長10.0 円形部径6.3	1	円形の薄銅板2枚を合わせ、端部3か所に鈴を付ける。近世以降か。		
2	0359	銅管	不明	金銅?	群馬県高崎市	長1.6 径0.5	1	銅板を筒状に丸め接合。	上野多野郡吉井町附近　四三、二、一二(台紙)	
3	0360	銅管	不明	金銅	群馬県高崎市	長1.7 径0.6	1	銅板を筒状に丸め接合。鍍金。	上野多野郡吉井町附近　四三、二、一二(台紙)	
4	0361	銅管	不明	金銅?	群馬県高崎市	長1.7 径0.5	1	銅板を筒状に丸め接合。 管内に有機質残存。	上野多野郡吉井町附近　四三、二、一二(台紙)	
5	0362	銅管	不明	金銅	群馬県高崎市	長1.6 径0.5	1	銅板を筒状に丸め接合。鍍金。 管内に有機質残存。	上野多野郡吉井町附近　四三、二、一二(台紙)	写真62･63
6	0363	銅管	不明	金銅	群馬県高崎市	長1.7 径0.6	1	銅板を筒状に丸め接合。鍍金。 管内に有機質残存。	上野多野郡吉井町附近　四三、二、一二(台紙)	
7	0364	銅管	不明	金銅	群馬県高崎市	長1.9 径0.6	1	銅板を筒状に丸め接合。鍍金。	上野多野郡吉井町附近　四三、二、一二(台紙)	
8	0365	銅管	不明	金銅	群馬県高崎市	長2.1 径0.6	1	銅板を筒状に丸め接合。鍍金。 管内に有機質残存。	上野多野郡吉井町附近　四三、二、一二(台紙)	
9	0366	銅管	不明	金銅	群馬県高崎市	長2.1 径0.6	1	銅板を筒状に丸め接合。鍍金。 管内に有機質残存。	上野多野郡吉井町附近　四三、二、一二(台紙)	
10	0873	不明銅製品	不明	銅		8.8×5.2	1	一か所に孔あり。帰属資料不明。		

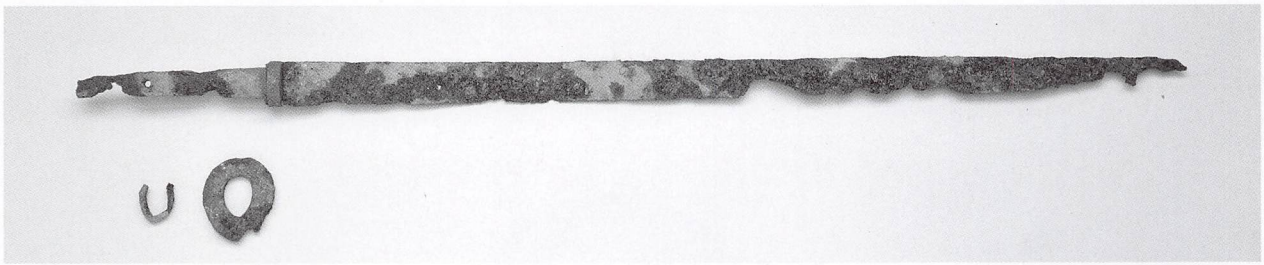
《既掲載文献》

(1)瀧瀬芳之　1991　「埼玉県の拵付大刀」『研究紀要』第8号　(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
(2)川本町　1989　『川本町史』通史編
(3)穴沢咏光・馬目順一　1979　「獅噛環刀試考」『信濃』第31巻第4号　信濃史学会
(4)宮代栄一・谷畑美帆　1996　「続・埼玉県内出土の馬具－副葬品としての馬具分析の問題点」『埼玉考古』第32号　埼玉考古学会
(5)瀧瀬芳之　1990　「馬鐸について」『埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第94集　東川端遺跡』(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
(6)埼玉県文化財保護協会　1963　『埼玉の文化財』第4号
(7)田中　琢　1981　『日本の美術NO178古鏡』至文堂
(8)国立歴史民俗博物館　1994　『国立歴史民俗博物館研究報告』第56集(共同研究「日本出土鏡データ集成」2)国立歴史民俗博物館
(9)下垣仁志　2016　『日本列島出土鏡集成』同成社
(10)埼玉県教育委員会　2016　『埼玉県文化財目録』
(11)大谷　徹　1991　「北武蔵出土の銅鋺」『埼玉考古学論集－設立10周年記念論文集－』(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
(12)埼玉県立博物館　1991　特別展『音のかたち』展示図録
(13)山梨県立考古博物館　2014　第32回特別展『掘り起こされた音の形－まつりと音具の世界－』展示図録



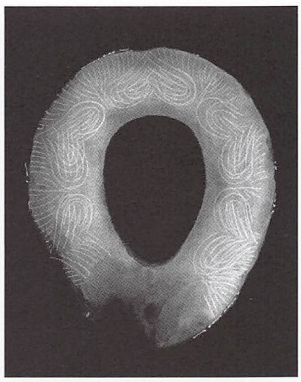
1. 0191

2. 0448-0001 ～ 0005



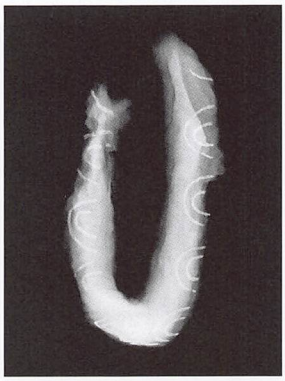
3. 0449-0001 ～ 0003

4. 0449-0002



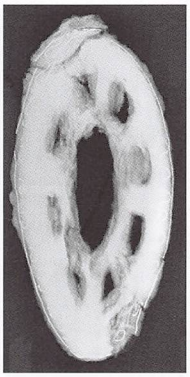
5. 同左X線写真

6. 0449-0003



7. 同左X線写真

8. 0244

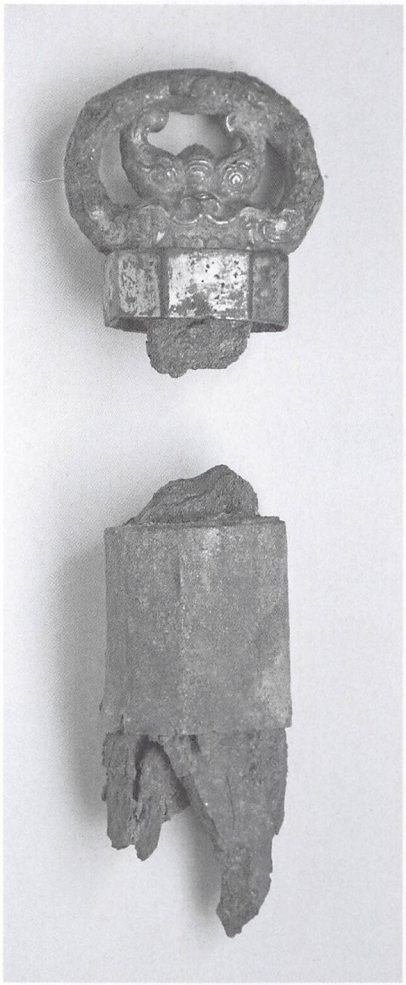


9. 同左X線写真

10. 0249･0250

11. 0251

12. 0450



13. 0545(上) 0543(下)

14. 0539

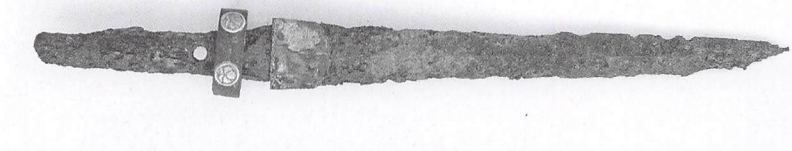
15. 0544

16. 0265

17. 0262

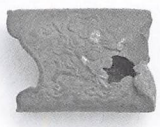
18.0357

19.0358



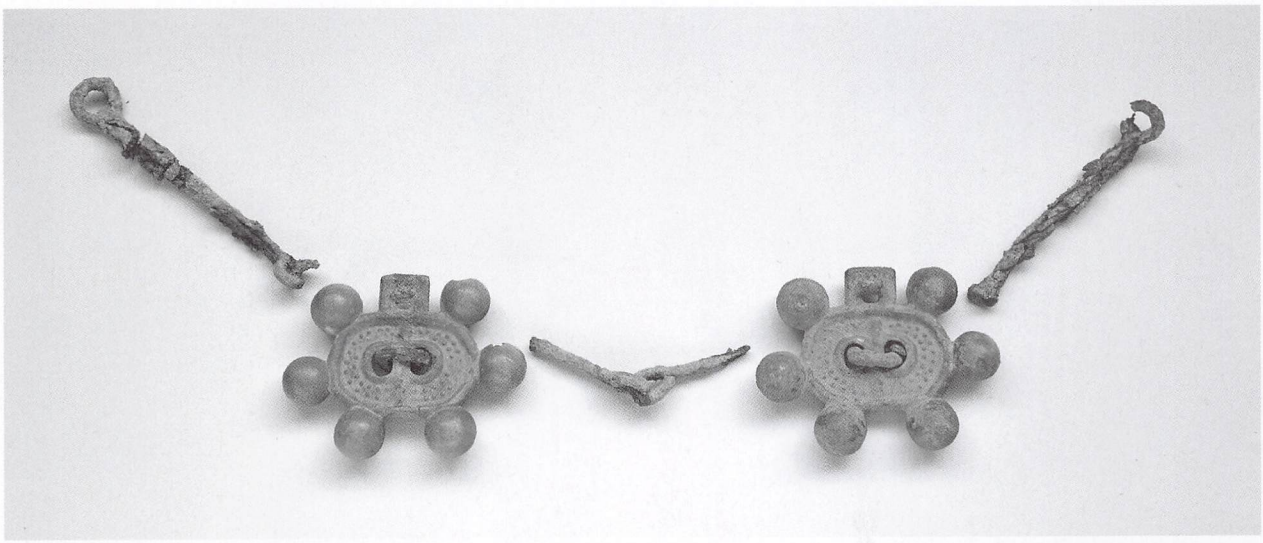
20.0572

21.0333



22.0256

23. 0248

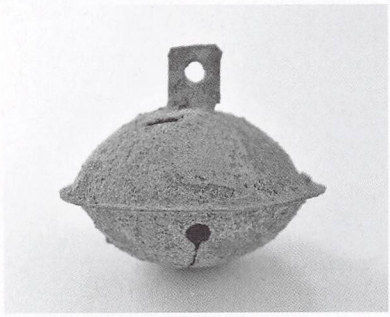


24. 左から 0211. 0212. 0210. 0213. 0209

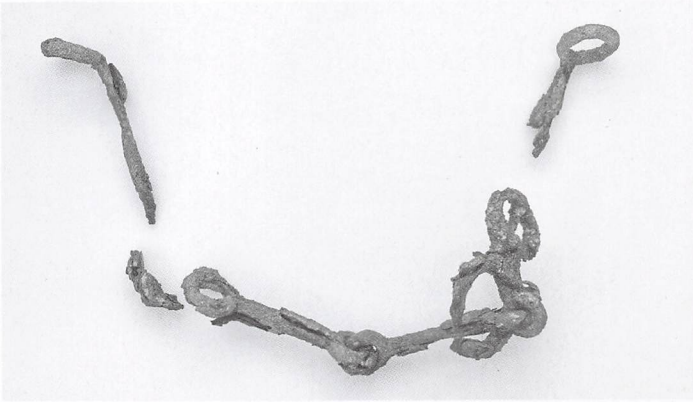
25. 0216

28. 一列 0271　二列左から 0268.0269.0270
三列 0277.0276.0278　四列 0272.0273-0001

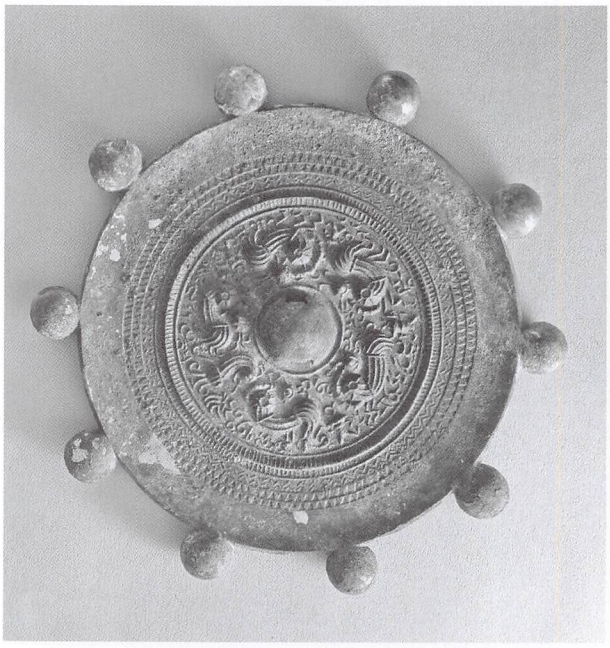
26. 0871



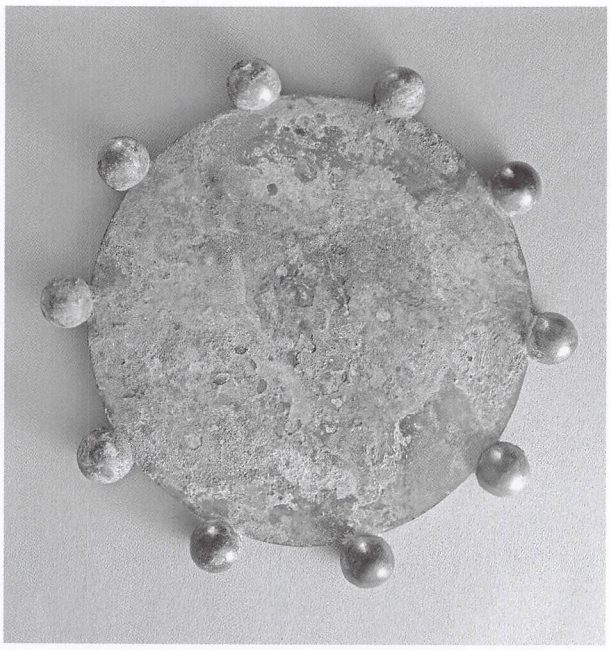
27. 0872



29. 0274



30. 0537



31. 同左鏡面

32. 0301

33. 0569

34. 0190

35. 同左鏡面

36. 0570

37. 0230

38. 0228

39. 0557

40. 0342

41. 0343

42. 0355

43. 0356

44. 0224

45. 0344

46. 0348

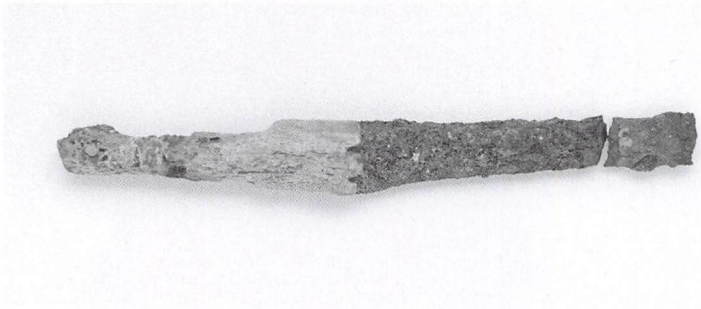
47. 0390

48. 0558

49. 0560

50. 0688

51. 0693



52. 0134

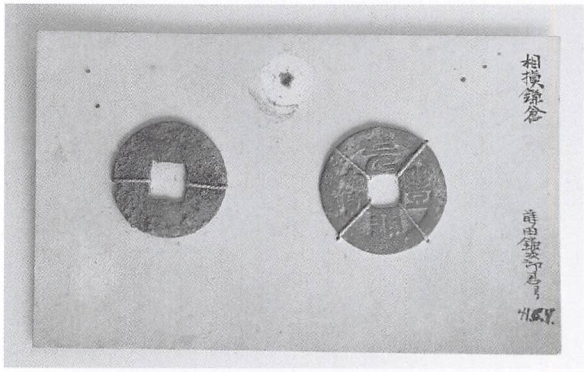
56. 0279

53. 0563

55. 0218

54. 0564

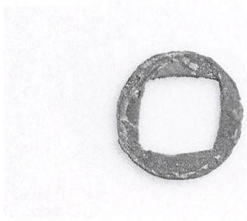
57. 0565



58. 0394（左）. 0393

60. 0391

61. 0392



59. 0395

62. 0362

63. 0362